

武蔵野市民科指導計画・報告書

武蔵野市立

大野田小学校 第5学年

実施時期 7月～3月

1 教科等名 総合的な学習の時間

2 単元名 「こうなつたらいいな、武蔵野市」

3 (1) 武蔵野市民科で育成する主な資質・能力 社会参画 協働 3 (2) 詳細項目 目標達成に向けた他者との協力 公共心・社会連帯の自覚

よりよい生活を協力して築こうとする態度

4 単元の目標

○知識・技能の習得	①武蔵野市のよさに気付き、その特徴について理解する。 ②課題に沿って必要な情報を集め、取捨選択する。
○思考力・判断力・表現力等の育成	①武蔵野市のよさを分かりやすくまとめる。 ②武蔵野市のよさと課題を様々な立場から捉え、よりよくするための改善案を考える。 ③学習したことを伝える方法を目的や相手に合わせて考え、工夫して伝える。
○学びに向かう力・人間性等の涵養	①武蔵野市のよさについて、興味や関心をもち、課題を見つけて進んで調べようとする。 ②人との主体的な関わりを通して考えを広めたり、深めたりする。

5 単元計画

ねらい	時数	主な学習活動	関連教科 関連団体（連絡先等）
身の回りの題材からの課題設定・情報収集をする。	10	・武蔵野市のよさとは何か、身近な場所をもとに考える。 ・武蔵野市にあるお気に入りの場所について、Webサイトなどから情報を収集する。	社会
個人での整理分析・発信をする。	5	・収集した情報をもとに、報告書にまとめる。 ・報告書を読み合ったり、発表をしたりして、感想を伝え合う。	社会
“自分たちの住んでいる”武蔵野市についての課題設定・情報収集をする。	12	・市政調査から分かることをいろいろな立場から考える。 ・小グループでテーマをについて具多的に調べる。	国語
武蔵野市の伝統についての課題設定・情報収集をする。	12	・武蔵野市で大切にされてきたものについて考える。 ・武蔵野市で受け継がれてきたものを調べたり、話を聞いたりしながら、様々な情報を集める。	国語
これまで学習してきたことの整理分析・発信実行をする。	6	・これまでの学習で収集した情報をもとに、武蔵野市の伝えたいきたいものをまとめる。 ・作成したポスターや動画を市役所で発信する。	社会
			合計時数 45 時間

6 指導上の工夫 (①課題設定→②情報収集→③整理・分析→④発信・実行のサイクルが実現する工夫や手立て等)

【指導について】

●活動全体を見通した留意点

- ①児童の思考が促され、一人一人が自分の考えをすすんで言いたくなるような資料提示をする。
- ②ペアやグループ、ICTを活用した対話の時間を意図的に設定する。

●探求的な学習のプロセスの構成

「こうなつたらいいな、武蔵野市」というテーマで年間を通して学習を進めていく。1学期は自分たちの立場で、2学期は自分たち以外の立場で、武蔵野市のよさと課題を考えることで、子供たちの視点を広げ、多面的に武蔵野市を捉えられるようにする。3学期は、それまでの学習を踏まえて、武蔵野市の伝えたいきたいものを考え、提案を行う。

7 単元の振り返り

成 果（児童・生徒の変容等）	課 題	改善策
・自分の身の回りではなく、他者の視点から、物事を考えたことで、多面的に物事がみられるようになった。 ・市政調査を活用することによって、個人的な思いではなく武蔵野市民の思いとして、根拠をもって武蔵野市の課題やよさについて考えることができた。	・外部人材の活用をするにあたり、児童からどのような案ができるかによって、外部人材の活用の種類が変わるので、事前にアポイントがとりにくい。 ・「武蔵野市を変える」ということが漠然としていて、課題や改善策を考えるのが難しい児童もいた。	・毎年どのような外部人材を活用しているかを記録をとっておき、引き継ぐことで次年度、ある程度見通しをもって活用することができる。 ・児童の興味が最大限引き出せる導入や展開の工夫をすること。